

事業概要

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに次代を担う子どもたちを育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう子どもたちの活動拠点(居場所)を設け、支援員等による育成支援や幅広い地域住民等の参画により、生活習慣の獲得や学習習慣の定着、社会性の習得など子どもたちの成長を支える活動を推進する。

期待される効果

- ◆ 放課後等に子どもたちが安全・安心に過ごせる「遊びの場」や「生活の場」を保障
- ◆ 「放課後学びの場」において、子どもたちが学ぶ力を身に付ける
- ◆ 学校と地域が連携し、より安全で健やかに、地域で子どもを育てる風土ができる
- ◆ 様々な活動や他者との関わりを通じて、子どもたちが主体的に生きる力を身に付ける

現状・課題

- ◆ 全小学校区の95.8%に放課後子ども教室又は放課後児童クラブを設置(H30)
- ◆ 放課後児童クラブについて、国が示す基準を満たしていないクラブがある
 - ・未達成率(H29→H30)
 - 認定資格者数 12.7%→11.6%、集団の規模 54.8%→38.7%、専用区画の面積 42.2%→35.3%、地域や関係機関等との情報交換・相互交流の実施 33.1%→26.6%
- ◆ 各児童クラブや子ども教室の活動内容に差がある
- ◆ 特別な配慮を必要とする児童の受入体制を強化する必要がある

事業目標

- ◆ 放課後の安全・安心な居場所が確保される
 - 【目標(H31まで)】 ・放課後子ども教室及び放課後児童クラブの設置校率 95%以上 ※H30見込 95.8%
- ◆ 「放課後学びの場」において、子どもたちが学ぶ力を身につけることができる
 - 【目標(H31まで)】 ・学習支援の実施 95%以上 ※H30 98.1%
- ◆ 学校と地域が連携し、より安全で健やかに地域で子どもを育てる風土ができる
 - 【目標(H31まで)】 ・避難訓練実施 100% ※H30 98.4% ・防災マニュアル作成 100% ※H30 100%
 - 【南トラ計画:目標(H33まで)】 ・学校や地域と連携した避難訓練の実施(年2回以上) 70%以上

実施内容

市町村等(実施主体)

補助及び支援

高知県

H31 児童クラブ 180カ所、子ども教室 145カ所で実施予定 (H30 児童クラブ 174カ所、子ども教室 147カ所で実施)

委託

市町村の計画及び国や県の実施状況調査結果等を踏まえ 助言や助成・人材育成等を実施

新・放課後子ども総合プラン推進事業(補助)

- ◇ 放課後子ども教室推進事業(国1/3、県1/3・2/3) 32市町村147カ所→145カ所
- ◇ 放課後子ども総合プラン利用促進事業(県1/2) 保護者利用料減免助成
 - 児:11市町村55カ所→10市町村58カ所 子:1町4カ所→1町4カ所
- ◇ 放課後児童クラブ推進事業(県1/3) 20市町村等174カ所→180カ所
- ◇ 放課後学びの場充実事業(県1/2)
 - ① 学習支援者謝金 児:8市町47カ所→8市町52カ所 子:6市町17カ所→6市町17カ所
 - ② 食育学習経費 子:7市町村12カ所→6市町村20カ所
 - ③ 発達障害児等支援 児:2市町15カ所→2市町16カ所 子:0カ所→0カ所
 - ④ 防災対策経費 児:2市22カ所→3市7カ所 子:1町1カ所→2町3カ所
 - ⑤ 教材等経費 児:1市14カ所→0カ所 子:1市1カ所→1市1カ所
- ◇ 放課後児童クラブ施設整備助成事業(県1/3・1/6・1/8) 4市8カ所→4市11カ所

人材育成研修等

- ◇ 放課後児童支援員認定資格研修の実施(年1回・4日間)
- ◇ 子育て支援員研修(放課後児童コース)の実施(年1回・2日間)
- ◇ 放課後児童クラブ・放課後子ども教室研修(年13回→年10回)
 - ① 防災研修(安全・安心) 3箇所×各1回 現場ニーズに対応して企画・実施
 - ② 障害児等受入研修 2箇所×各1回
 - ③ 発達障害児等支援研修 全5回

「学び場人材バンク」の設置

- ・人材発掘
- ・登録
- ・マッチング
- ・出前講座の実施

